

『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム

ファザーリング全国フォーラム in 愛媛が開催されました。



令和6年1月26日(金) 愛媛県男女共同参画センターにて、こどもや子育てに関わる全ての人々がワンチームとなり、社会全体でこどもと子育て世代を支える機運の醸成を図ることを目的として、『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム in 愛媛が「ファザーリング全国フォーラム」と同時に開催されました。

濱里愛媛県副知事と NPO 法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏からの挨拶、そして加藤鮎子こども政策担当大臣のビデオメッセージの後、兵庫豊岡市くらし創造部ジェンダーギャップ対策室の原田紀代美氏による基調講演が行われました。

さらに男性育休・女性活躍等に取り組む地元企業、県、豊岡市とこども家庭庁によるパネルディスカッションが行われ活発な意見が交わされました。また会場を移して、ファザーリング・ジャパンと財務省(協力:こども家庭庁)、厚生労働省による分科会も開催され、多くの一般市民が参加し、子育て支援に関する知見を深めました。



濱里副知事による開催挨拶



安藤哲也氏の挨拶



原田紀代美氏の基調講演



こども家庭庁企画官が参加した分科会

【基調講演「地域におけるダイバーシティの重要性～多様な働き方、多様な価値観を尊重する風土の拡大」と地元企業や行政のパネルディスカッション

基調講演では、原田氏が男女ともに働き甲斐と働きやすさを感じる職場への変革で行政と企業が進めている兵庫県豊岡市の取組を紹介。人口減少の課題に対し、若者の流出と男性中心の社会が根付きによるジェンダーギャップが一因と分析し、その状況を変えるために2021年に策定された、「豊岡市ワークイノベーション戦略」を解説しました。アンコンシャスバイアス(無意識の偏見や思い込み)により仕組や慣行が影響を受けていること、豊岡市と地元企業によって、女性が働きやすい職場環境づくりなどに取り組んでいること、また取組による変化と評価が着実に生まれ、広がっている現状が報告されました。

また、パネルディスカッションでは、男性育休、女性活躍等に取り組む地元企業、県、国、豊岡市が対談し、各組織での取組を紹介。仕事と子育ての両立支援や育休を取りやすい職場環境づくりなど各企業が、今向き合っている課題と解決のためのナレッジの共有を行いました。また、こども家庭庁企画官からは、「こども未来戦略の下、行政、自治体、企業などが仲間の輪を広げることで社会全体のポジティブな雰囲気醸成につなげられれば」という展望を述べました。

【分科会

分科会では、財務省主催のワークショップにこども家庭庁職員が参加。財務省職員から日本の財政の仕組や現状、こども・子育て政策を強化するための今後の予算計画と施策を紹介。こども家庭庁からは「こども未来戦略」について説明が行われました。後半は、未来へ視点変換してそこから今何をすべきかを思考する「フューチャーデザイン」のグループワークをリアルとオンラインで行いました。2050年に自分がどんな社会に生きているかをテーマに、未来の子育て社会の姿についてグループ内で意見を交わし、未来像を描くと同時に2024年のこども・子育て政策に対するリクエストを発表し合いました。全体的に子育て環境は良くなっているというポジティブな未来像が挙げたことを踏まえ、こども家庭庁企画官は「行政側もポジティブかつミクロな視点が必要だと感じた。より明るい未来を描けるような取組を皆さんと一緒にこれからも行っていきたい。」とコメントし、分科会を終えました。

【概要】名称:『こどもまんなかアクション』リレーシンポジウム in 愛媛/ 場所:愛媛県男女共同参画センター、えひめこどもの城/ 日程:令和6年1月26日(金)27日(土) / 内容:《基調講演》原田紀代美「地域におけるダイバーシティの重要性～多様な働き方、多様な価値観を尊重する風土の拡大」 / 主催:愛媛県、ファザーリング全国フォーラム in 愛媛実行委員会(NPO 法人ファザーリング・ジャパン、公益社団法人松山青年会議所、NPO 法人ワークライフ・コラボ)、公益財団法人えひめ女性財団 / 協力:こども家庭庁